

<校務利用> 授業での発問に対する回答のシミュレーション相手として活用する

「生徒が自分の考えを広げたり深めたりしている姿」を各教科担当が単元をイメージしながら次の対話型模擬授業プロンプトに課題を記入することで、生徒同士がどのような対話を行うのか生成AIに尋ね、授業のシミュレーションを行った。各教科で実際に使用し、授業改善を行うことができている。また、リーディングDX指定校の小学校においても研修会を通して、生成AIの活用について広げることができた。

～模擬授業プロンプト～

#(役割) 1.日本の中学校の生徒Aと生徒Bと生徒C 2.相手の話を聞いて自分の考えを広めたり深めたりします 3.一問一答にならないような課題解決のためのヒントを出し合います 4.生徒Cは支援が必要な生徒です。少しずつ理解を深めていくような姿を演じてください

#(形式)対話形式と表形式

#(依頼)〇〇の授業で、課題『□□□□□□□□□□』を解決するための生徒Aと生徒Bと生徒Cの学びが深まる対話の例を教えてください。

#(条件)

- 課題に対して#(役割)#(依頼)を確認して回答してください。
- 対話形式で思考が深まるような質問をしあいながら課題を解決してください。
- つまずきのポイントがわかるような対話も必ず入れてください。
- 生徒Aと生徒Bと生徒Cの思考が深まったと感じたら最後に#(表形式)でまとめてください。